

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	我が国は、日・ASEAN外相会議等の場において、ASEAN各国に対し、人工衛星からのリモートセンシング技術を活用したASEAN防災ネットワーク構想による協力を発表しており、当該協力の技術者育成のための事業は国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	奨学金の受給者は、リモートセンシング(RS—GIS)学科に限定されているとともに、AITの職員より成績優秀者の中から選定されており妥当である。また、単位あたりのコストはAITより示されている標準コストに基づく支出となっており、授業費、生活費等の真に必要なものに限定されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	人工衛星を用いたリモートセンシング技術を活用しうる技術者の育成については、これまで我が国が拠出金等により支援を行ってきたAITを活用することが有効であるとともに、AITは当該分野において地域トップレベルの実力を有し、東大やJAXAと連携したプロジェクト等を実施しており、AITの活用が最も効率的である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	奨学金事業について、我が国が進めている人工衛星を活用したASEAN防災ネットワーク構築等の東南アジア地域の気候変動・防災対策支援の一環として活用すべく、平成24年度以降は支援対象者をリモートセンシング・地理情報システム(RS—GIS)を専攻する学生に限定して実施している。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	適切な拠出規模について、見直しを図る。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	146	平成23年	144	平成24年	—